

フィリア・レター

～真の友人からの手紙～



発行：中部ろうさい病院

〒455-8530

名古屋市港区港明 1-10-6

TEL 052-652-5511

FAX 052-653-3533

<https://www.chubuh.johas.go.jp/>



ご挨拶

院長 佐藤 啓二

新年おめでとう
ございます。

新型コロナウイルス
感染症が2類から5類に変更され、初めて
迎える年となりました。

ウクライナやイスラエル等国際政情不安
が続いておりますが、名古屋市南部におけ
る医療については、近隣病院と力を合わせ
て地域の医療をまもり、患者さんの早期社
会復帰にむけてさらに努力を傾注したいと
考えております。

当院の平均在院日数は長く15日台を続け
てきましたが、入院患者さんの早期退院・
早期転院にむけ、メディカルサポートセン
ター機能を入院早期から働かせることによ
って直近では11.4日となっており、高機能・
高回転病院として社会的責務を果たすこと
ができるようになってまいりました。

また当院の特色である治療就労両立支援
センターやリハビリテーション診療を活か
して、入院治療を受けられた方が早期社会
復帰できるよう、さらに努力を続けてまい
ります。

病院1階にある自動再来受付機・自動精
算機については、患者さんの動線を考慮し
配置を変更させていただきました。当初は
ディスプレイに反射光が映り込む等ご迷惑
をおかけしましたが、工夫を重ねながら患
者さんにとってご不便が生じないように改
善を重ねてまいります。今後も会計計算時
間の短縮や手続きの簡略化に向けて努力を
続けてまいります。

2024年こそ、日本にとって昇龍の年にな
りますよう、名古屋市南部における医療
を安心して提供できるよう、職員一同力を
合わせてがんばる所存です。

今月号のお知らせ

- ①ご挨拶 院長 佐藤 啓二
- ②紙面健康セミナー
..... 泌尿器科部長 高木 康治
- ③DMAT派遣について
(コラム) 災害時の派遣チーム

- ④病院からのお知らせ
オンラインピアの開始
- ⑤糖尿病週間イベント
- ⑥患者満足度調査
編集後記

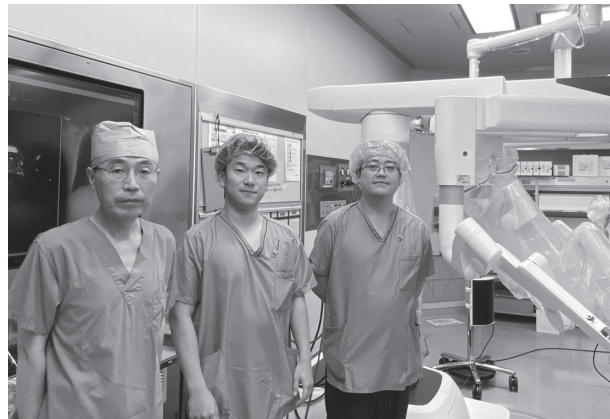


紙面健康セミナー

前立腺癌に対する ロボット手術について

泌尿器科部長 高木 康治

当院に導入された手術支援ロボット「ダビンチ」は骨盤内の奥深くにある前立腺を手術するために開発されたロボットと言っても過言ではないと思います。前回のフィリアレターで紹介された手術支援ロボット「ダビンチ」の特徴は、1) 非常にきれいな立体画像(3D画像)、2) 繊細な操作が可能となった手術道具(鉗子)にあります。手術は全身麻酔下で行

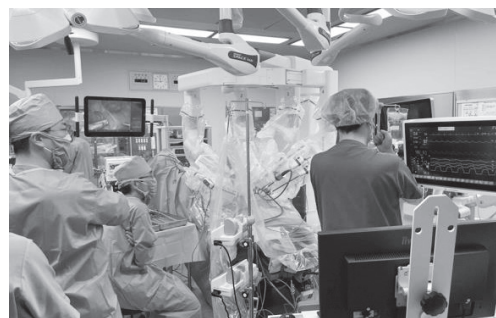


泌尿器科スタッフ

われ、骨盤の奥深く膀胱の直下にある前立腺を拡大された綺麗な立体画像で間近に観察しながら、操作性に優れた手術道具(鉗子)で前立腺を切除し、残された膀胱と尿道を吻合します。上記の「ダビンチ」の特徴の恩恵を十二分に受け、繊細で安全性の高い手術が可能となりました。この結果手術支援ロボット「ダビンチ」を利用した前立腺癌の手術(ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術、RARP)は従来の開腹術に比較して傷口が小さく痛みの少ない、そして出血量の少ない低侵襲手術を実現しました。また前立腺の両外側を走行している陰茎海綿体神経を温存することで尿漏れ、勃起障害と言った術後合併症を軽減することが可能となり、術後のQOLの向上にも寄与しています。但し前立腺癌の進行具合によっては神経を温存できない場合があります。

一方、この手術は頭低位で行うために、通常の手術より心臓、肺に負担がかかりやすくなり、ロボット手術を希望されても受けていただけない場合が時にはあります。

当院にも2023年7月に手術支援ロボット「ダビンチ」が導入され、前立腺癌に対するロボット手術を行っております。主治医より前立腺癌の手術を勧められた場合は手術支援ロボットのある病院でロボット手術を受けることをお勧めします。但し前立腺癌には手術療法、放射線療法、内分泌療法と有効な治療の三本柱がありますので、患者さんにとってベストな治療は何か主治医の先生とよくご相談下さい。



ダビンチ手術の様子

令和6年能登半島地震 中部ろうさい病院DMAT活動報告

令和6年能登半島地震により被害を受けられたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

令和6年1月1日(月)に発生した能登半島地震において、当院の災害派遣医療チーム(DMAT)が、石川県穴水町で、医療支援活動を行いました。

チームは、医師1名、看護師2名、業務調整員1名の4名構成で、1月8日(月・祝)から12日(金)まで5日間、穴水町の総合病院で医療支援活動を行いました。

被災地は、電気は通じているものの、上下水道の復旧は見通しが立たず、水道、風呂、水洗トイレが使えません。また、破断した道路状況の中、自衛隊から毎日20tの給水を受け、簡易トイレでの生活を余儀なくされていました。

避難している地域の方や現地の医療従事者も心身ともに疲弊しており、入院患者を受け入れられる状況ではありませんでした。

チームの主な活動は、地域における医療の最後の砦として救急車を全て受け入れている、救急外来の運営管理を行いました。

固定電話、携帯電話ともに電波状況が悪く、複数台の救急車が事前連絡なしに、救急外来に搬送されることから他県のDMATと連携して患者対応を行いました。多くは、避難所での体調不良や発熱、持病の悪化のみみられる高齢者でした。救急外来で限られた検査を行い、入院が必要な患者さんは、これ以上現地では入院治療ができないことから、ドクターヘリや他県混成の救急隊、DMAT車両を最大限活用して、被災地隣接の基幹病院や大学病院へ医療搬送を行いました。

まだまだ、震度3から4の余震が頻発しており、さらには雨から雪へ変わるなど気象状況も厳しく、避難所でのインフルエンザやCovid-19、ノロウイルスなどの感染症の蔓延もあり、こちらも厳しい状況が続いています。

医療機関のみならず、自衛隊、警察、消防、保健所、行政職員、そして電気やガス、水道のライフライン関係の復旧に携わる人達が、支援のため全国から参集しており、一日も早い「日常の回復」に向けて取り組んでいます。

地域の皆さまとお会いする度に「愛知県からわざわざ来て下さったんだね。ありがとうございます。」と口々にお声かけいただいたお言葉が忘れられません。

私たち中部ろうさい病院は、被災地に寄り添い、引き続き出来る事を全力で取り組み、地域の皆さまのお役にも立てるよう、最善を尽くしてまいります。



「小児科診療の停止」と「分娩取り扱い終了」のお知らせ

当院において検討を重ねた結果、令和6年4月1日をもって、小児科診療を停止することといたしました。また、それに伴い、分娩の取り扱いについても、同日をもって終了いたします。



●停止概要

- ①小児科の外来診療、入院診療及び救急患者の受入れの停止
- ②分娩の取り扱い終了

●停止（終了）日

- ① ②共に令和6年4月1日（月）より停止 ※令和6年3月31日（日）が最終日

●問い合わせ窓口

【地域の医療機関に関すること】 地域医療連携室：TEL 052-652-5950

【診療に関すること】 小児科外来または産婦人科 外来：TEL 052-652-5511（代）

※平日15：00～17：00

【その他】 医事課：TEL 052-652-5511（代） ※平日14：00～17：00

定期受診されている患者さまには、希望される医療機関および必要とされる医療機関を紹介させていただきます。この度の診療停止により、皆さまにはご心配・ご不便をおかけしますことをお詫び申し上げます。何卒、ご理解とご協力賜りますようお願い申し上げます。

令和6年2月よりオンラインピアを開始します

がん体験者「ピアサポーター」オンラインでお話しませんか？

「ピアサポーター」があなたと同じ立場で、お話を伺い、どうすればよいか共に考えます。

こんな時にご利用ください

同じがんを体験した人と話したい。副作用や後遺症の対処について、経験者の話を聞きたい。がん家族とのどう接したらよいか 等々

実施日時：毎週 火～金曜日 10：00～16：00

申込・問合せ先：当院 がん相談支援センター（メディカルサポートセンター内）

メディカルサポート内の面談室にて、タブレットにて相談いただきます。

※患者さんに負担いただく費用や準備物はありません。

がん相談以外にがん患者さん同士で語り合いいただける患者会への参加も可能です。

対面相談会も行っています

毎月第4木曜日は、直接ピアサポーターとお話いただけます。

予約は不要ですので、お気軽にお声がけください。

日時：第4木曜日 10：30～12：30 場所：当院正面玄関



糖尿病週間イベントを行いました

国連は11月14日を世界糖尿病デーとし、世界で蔓延する糖尿病の脅威に立ち向かうべく、予防や治療継続の重要性について皆さんに啓発する日となっています。また、11月14日を含む一週間（11月8日～14日）を糖尿病週間とし、全国各地で糖尿病に関する健康相談や啓発活動が行われています。当院でも、その世界糖尿病デーに併せ、イベントを実施しました。



なぜ11月14日？

⇒糖尿病で使用される「インスリン」の発見者であるカナダのフレデリック・バンティング博士の誕生日だから



当院のイベントの様子 血糖測定、In Body（体成分）測定、健康相談などを実施しました



パネル展示（抜粋）



クイズ（抜粋）

糖尿病合併症とは？



- し 神経（糖尿病神経障害）
手足のしびれ、こむら返り
- め 目（糖尿病網膜症）
網膜症 → 失明
- し 腎臓（糖尿病性腎症）
腎病 → 透析

糖尿病は様々な合併症のリスクになる

Q：災害時にかかりつけの病院が被災したので、他の病院ではかかりつけではないので薬を処方してもらえない？

A：×

超法規的措置として「処方箋なしでの医薬品の交付」を発出することがあります。携帯電話やスマートホンにお薬手帳の画像を保存しておきましょう。また、災害グッズなどに3日～1週間分ほど残薬をいれ、災害に備えましょう。

令和5(2023)年度患者満足度調査の結果について

当院では、患者サービスの向上を目的に、患者さんの目線に立った良質で安全な医療を提供するため、患者満足度調査(入院・外来)を毎年実施しています。

調査内容については、「1. 不満」から「5. 満足」までの5段階評価となっており、ソフト面とハード面双方の評価がなされるので、今後の病院改善に向けた貴重な資料の一つとなっております。

【実施日】 外来調査：令和5年9月19日 入院調査：令和5年9月12日～10月9日

【方法】 患者さんにアンケートを配布。

【満足度結果(抜粋)】

外来の満足度		前年度比 (%)	入院の満足度		前年度比 (%)
診察サービス面全般	77.8%	+1.1	診療面全般	92.6%	-0.8
接遇面全般	82.3%	+5.0	接遇面全般	89.9%	-3.6
診察室等環境面全般	85.1%	+7.5	病室環境面等全般	78.5%	-9.5
設備面全般	84.5%	+9.1	設備面全般	78.6%	-4.9
総合評価	81.0%	+0.2	総合評価	91.8%	-0.3

※無回答を除いた全体に占める、「4. やや満足」、「5. 満足」と回答した人の割合(%)

★調査結果を踏まえて

外来の満足度については、81.0%と昨年度より0.2%高くなっております。駐車場、売店、トイレ等設備面に関しては良い評価をいただき、昨年度より高評価をいただけました。しかし、診察サービス面全般の伸び率が低く、特に外来、会計等の待ち時間、診察時間についてご満足いただけていないことが分かりました。導線等を見直し、より効率的な診療と待ち時間の短縮に向けて引き続き取り組んでいきます。

入院の満足度については、総合評価は91.8%となりましたが、接遇面全般の評価が低くなり、満足度が下がりました。病室環境面と設備面では満足度が80%を下回っているため、今後、計画的な環境面の整備を検討していきます。

患者さんからいただいた貴重な意見を参考に、患者さんにご家族が満足できるサービスを提供できるよう取り組んでいきたいと考えています。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

編集後記

この度の令和6年能登半島地震により被災された皆様、ならびにそのご家族の皆様にお見舞い申し上げます。天災はどの地域でも起こりうることです。特に南海トラフは、広範囲に甚大な被害があると言われておりますので、人的・物的支援が全ての被災地に十分届かないかもしれません。いざという時の備えをしておかなければと改めて実感しました。(A. W)

当院の理念

納得、安心、そして未来へ

当院の基本方針

- ・医療の質の向上と安全管理の徹底
- ・生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- ・人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- ・地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- ・災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供